



お元気ですか

日本共産党三重県議会議員

岡野恵美の議会通信

No.27 2017・11・19
発行 岡野恵美事務所
〒514-0016 津市乙部 21-25
Tel/Fax 059-273-5505
E-mail emi-okano-jcp@wb4.so-net.ne.jp
みなさんのご意見ご要望をお寄せください。

大型公共事業のしわよせ今も

決算審議中 11/22まで

今後の県政に生かすべき
河口堰事業は、水道料金が低いという問題だけでなく、昨年度の決算認定の討議で山本議員が指摘したように、自然環境破壊や漁

2016年(平成28年)度、水道事業会計は40億円を一般会計に貸し付けました。この他に企業会計の内部留保金が216億円あることがわかりました。次回の市町との契約見直しの際には水道料金を安くすべきではないでしょうか。

内部留保金の活用を

日本共産党は、長年にわたり、議会内外で大企業優遇の政治を批判してきましたが、今議会の決算審議を通じて、長良川河口堰負担金の支払いは、平成7年度から平成29年度の支払いの完全な終了までに総額684億3200万円にのぼることがわかりました。あらためて、大企業優遇の政治からの転換を求め、早く決意です。

高い水道料金の理由は、長良川河口堰とその関連工事に大規模な公共投資を行い、県民にツケをおしつけてきたからです。

岡野議員は、水道事業と工業用水道事業の2016年度決算認定の反対討論で、長良川の使われない水まで市町におしつけ、県民は高い水道料金を支払っていることを批判しました。

水道料金にうわのせ

長良川 河口堰事業

RDF 発電事業

日本共産党は28年度の企業会計の3決算議案(水道・工業用水道・電気事業)に反対し、病院事業会計は賛成しました。日本共産党と草の根運動隊が、紹介議員になった請願第40号「小学校一年生から段階的に25人下限条件をなくし、真の30人学級実現を求めること」については、不採択になりました。尚、10月17日には28年度三重県一般会計決算と11の特別会計決算案が上程され、11月22日に採決が行われます。



長良川河口堰

建設費 1500 億円 維持管理費年間 8~16 億円
治水分負担金は国
利水分の負担金は愛知・三重・名古屋市で分担
実際の利用は全体の 16%

RDF発電所は、北川県政時代に巨額を投じて桑名市に建設されました。平成15年(2003年)8月、RDF発電所が動きだしてまもなく、爆発事故によって、大切な2人の消防士の命が失われました。ごみ処理費用は当初に比べ最終的に約5倍にまで跳ね上がっています。

RDF発電事業は失敗

業に与える影響など、様々な角度から検証しておく必要があります。問題点をしっかりと認識したうえで、今後の県政運営に生かさなければなりません。

一般会計総括質疑

伊勢志摩サミットの決算額と県民生活への影響



決算

平成27年度48億円、平成28年度38億円の計88億円(うち公共事業費61億8千万円)

財源内訳

国庫支出金35億6千万円、県債35億2千万円、県費7億5千万円 寄付金5億2千万円、基金4億円、その他1千万円など

公共事業 財源内訳

県債32億円、国費27億1千万円、県費と基金で2億7千万

11・12月議会日程について

- 11月22日 本会議(採決・議案上程)
- 11月28日 本会議(議案質疑)
- 11月30日、12月4日・6日 一般質問
- 12月7日 全員協議会(当初予算要求状況)
- 8日 全員協議会(当初予算総括的質疑)
- 11日~14日 各常任委員会/分科会
- 19日 予算決算常任委員会(採決)
- 20日 議運・代表者会議
- 21日 本会議(採決・閉会)



10/30 予算決算常任委員会で質問する岡野県議

三重県はこのサミットにいくら使ったのか、決算資料に決算額は示されませんでした。岡野議員は決算審議にもその資料が必要だと質問し、上の金額が明らかにになりました。日本共産党は、サミットそのものには反対しませんが、1泊2日のサミットのために通るかもしれない道路を直すための予算には反対しました。その公共事業費は、88億円のサミット関連決算の中で約7割と大半を占めています。また、32億円もの多額の借金をして後年度にも負担がかかります。事業となったのがわかります。今回の決算認定において、金額を出さずに済ませようとしたことは大きな問題です。県民生活にとってどうだったのか。総括や検証はしっかりと行うべきです。